

特集号「次世代を切り開く炭素材料の進化と深化」投稿募集

「炭素」編集委員会
 主担当委員 衣本太郎
 担当委員 後藤和馬
 斎藤幸恵
 特別編集委員 入澤寿平
 (次世代の会副幹事長)

炭素材料は基礎研究に立脚し、クラシックカーボンからナノカーボンへと、先駆者たちのアイデアとチャレンジから常にニューカーボンが生み出され、学術的に深化しながら、時代の要求に応えるとともに次世代を切り開く材料として進化を遂げてきました。その歩みとともに、炭素材料学会も国内の産学官のみならず国際交流を積極的に進めながら、プレゼンスを高め、発展してきました。そして、炭素材料のさらなる進化と深化に向け、研究のアクティビティは高まっています。

そこで次世代を切り開く炭素材料に関する研究成果を広く発信することを目的に、一般投稿（ノート、論文および技術報告）を中心とした特集号を企画します。また、本特集号は炭素材料学会所属の若手研究者の紹介も一つの主旨とし、炭素ニュースのコーナーで、企業所属の若手研究者、大学や公設研究所などに所属の博士研究員および博士後期課程生の自己紹介を掲載します。

本企画は「次世代の会*」と協同しており、次世代の会の会員の方が筆頭著者もしくは連絡著者の場合、掲載料を次世代の会が負担いたします。また、掲載論文とノートの著者（45歳以下）の顔写真を掲載し、「この一冊で次世代の会の若手研究者が見える」特集号にしたいとも考えております。フィージビリティスタディでも構いませんので、自身の研究成果を発表する場としての本特集号への若手研究者からの積極的な投稿を期待します。

*2014年12月に発足した炭素材料学会の若手研究者の会です。詳細につきましては、<http://www.tanso.org/contents/society/next-g.html>をご覧ください。なお、45歳以下の正会員・学生会員・賛助会員の方は次世代の会の会員です。

投稿方法：はじめに、下記の応募締切日までに炭素材料学会編集事務局へ投稿のご予定をご連絡ください。その上で「炭素」投稿規定・投稿の手引きに従って原稿を作成し、特集号への投稿であることを明記のうえ、下記の原稿締切日までに炭素材料学会編集事務局へご投稿ください。

応募締切：2017年5月12日（金）

投稿原稿の区分、タイトル、著者、連絡先を明記のうえ、E-mailにて炭素材料学会編集事務局 (tanso-edit@bunken.co.jp)へ電子メールにてお申込みください。郵送にて下記の住所にお送りいただいても結構です。

原稿締切：2017年6月16日（金）

原稿の区分：論文（刷上り6頁以内）、総合論文（同10頁以内）、ノート（同3頁以内）、技術報告（同3頁以内）
内容：上記分野におけるオリジナルな内容で、印刷物として未発表のもの。原稿区分の説明については投稿規定をご覧ください。

審査：応募原稿は、通常の炭素誌への投稿原稿と同様の審査を行う。

掲載：炭素280号（2017年11月発刊予定）

投稿規定・投稿の手引き：<http://www.tanso.org/contents/journal/notice2017.pdf>

申込・問合せ先：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19

(株)国際文献社内 炭素材料学会編集事務局

TEL: 03-5389-6492 FAX: 03-3368-2830 E-mail: tanso-edit@bunken.co.jp